

(都) 敷島公園大師線 (2期工区) 歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

道路を拡幅し、歩道を整備します

地元の声

- 歩行者の安全面を考えると、歩道を設置してほしい。(地元住民)
- 災害時に電柱が倒れて道路が通行できなくなることが不安だ。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市青柳町～上細井町
- 事業内容: 歩道整備 延長1,268m、幅員2.0m
電線共同溝整備 延長2,536m
- 事業期間: 平成27年度～
- 現在の交通量: 13,517台/日(自動車)
(R3年度): 153人/12時間(歩行者)
: 446台/12時間(自転車)

事業前

- 道路が狭く、通学する生徒等の安全な通行に支障があります。



事業前の状況

成果を示す項目	実施前
幅員2.0m以上の歩道整備率	54%
電柱倒壊のおそれ	あり
安全な自転車通行空間	なし

事業後

- 道路を広げ歩道等を整備することで、通学する生徒等の安全を確保します。

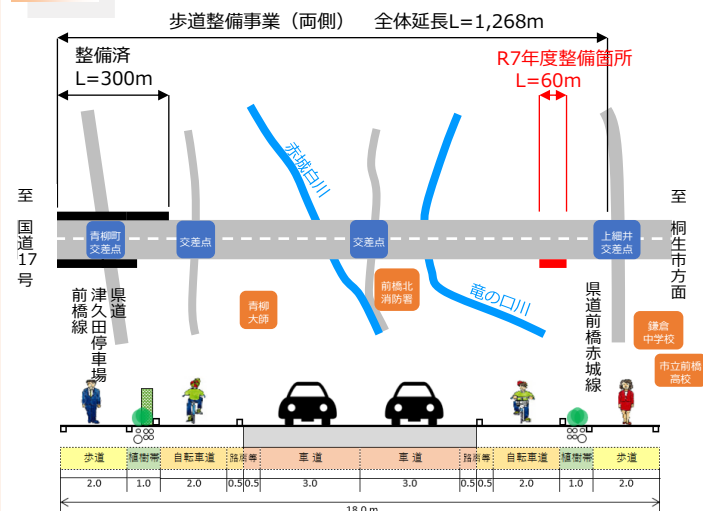


事業後のイメージ

実施後(目標)
100%
なし
あり



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を進めるとともに、道路改良工事及び補償工事(用水暗渠化)を実施します。



R7道路改良工事予定箇所

事業のすすみ具合

事業開始

事業完了